

ハーモニー

R5. 11. 17(金) No.16 小柳弘志

県駅伝競走大会3位入賞 【We can do it ~全員でつかんだ奇跡~】

郡市大会で優勝した本校の女子駅伝チームは、2位の荒尾四中の女子駅伝チームと共に11月10日(金)に天草市陸上競技場「あましんスタジアム」をスタート・ゴール地点として開催された、熊本県中体連駅伝競走大会に出場しました。

郡市大会の本校女子駅伝チームは、総距離11855mを42分32秒で走りきりましたので、これを県駅伝大会の総距離である12000mに換算すると、**43分03秒**で走ったこととなります。

県大会は、朝から雨が降る中、10:00に女子スタートの号砲が鳴りました。郡市大会は平坦なコースでしたが、県大会のコースは上り坂、下り坂、そしてカーブが多く、記録を狙うには難しく、郡市大会と同じ力を発揮しても記録は下回る事が多いコースです。郡市大会でライバルだった荒尾四中が、郡市大会の換算タイムより4秒しか遅れなかったのは、持てる実力を発揮したと言ってよいと思います。それでは、本校の女子駅伝チームの結果はと言うと、**42分25秒**で郡市大会と比べ、何と**38秒も早くなり**ました。ビックリです。さらに順位は、「あましんスタジアム」に入ってゴール手前20m付近で前を走っていたチームを抜き、3位でゴールしました。

そして、選手の皆さんと先生方が目標としていた九州大会出場を決めることができました。今度は熊本県の他のチームの思いもあわせて九州大会に出場します。緊張するとは思いますが、楽しんでください。おめでとうございます。



たまな荒尾中学校音楽会

11月8日(水)午後から荒尾総合文化センターにおいて、4年ぶりに開催されました。玉名荒尾地区の15校が集まり、合唱の素晴らしさを披露しました。インフルエンザ等のために欠席の生徒が多い学校もあり、男女の人数が極端に違うためハーモニーを響かせるのに苦労している学校もありましたが、本校代表の3年3組は、校内文化発表会で披露した「群青」と「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を見事に歌い上げました。

講評では「出だしを柔らかく響かせている。」「女子の高音の響きが印象に残る。」と言われ、「素晴らしいハーモニーでした。」と褒められました。私も帰ってきて校内文化発表会の時の合唱と聞き比べましたが、この日の合唱は、本当に素晴らしいハーモニーでした。3年3組のみなさん、感動をありがとうございました。



交通事故防止

9月の後半から日暮れが早くなりました。季節の変わり目は、事故や事件が多くなるようです。本校でも10月になり交通事故の連絡が増えました。自転車が壊れたり、擦り傷・打撲だったり、“不幸中の幸い”で重大事態は起こっていません。しかし、“**ハインリッヒの法則**”にあるように、この現状を重大事態の前触れとして捉えて用心し、対応することが大切です。警察庁の2022年の統計をもとに、多発している自転車事故についてお知らせします。



自転車が当事者となった交通事故は69985件で、交通事故件数全体の23.3%を占めています。自転車事故の死傷者の年齢別割合を見ると、19歳以下の自転車事故が約3割を占めています。

自転車事故は、出会い頭、右左折時の事故が多く、交差点で停止、徐行して左右の安全確認を行うことが事故防止につながります。自転車は自動車と異なり自分の身体を守る物がないので、ヘルメットを着用し、常に安全を心がけてください。

また、自転車による加害事故が16640件も発生しています。自転車は自動車と同じ「車両」であり、事故が発生した時は重い責任を負わなければなりません。実際に起きた事故の事例を紹介します。

[事例1] 小学5年生が運転する自転車が60代の歩行者に衝突して意識不明の重体となった。裁判所は親に9,521万円の賠償金の支払いを命じた。

[事例2] 高校3年生が運転する自転車が、会社員が乗った自転車に衝突して重い後遺障害が残った。裁判所は高校生対し9,266万円の賠償金の支払いを命じた。

自転車に乗る時は、事故に備えて保険に加入するだけでなく、安全運転を心がけることが不可欠ですね。

その他の危険行為

- 通行禁止違反
- 歩行者用道路における車両の義務違反(徐行違反)
- 通行区分違反
- 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 妨害運転(交通の危険のおそれ・著しい交通の危険)
- 交差点安全進行義務違反等
- 交差点優先車妨害
- 環状交差点安全進行義務違反等
- 安全運転義務違反